

令和6年能登半島地震に係る研究教育活動の支援について

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、負傷された方、被災された方、そのご家族及び関係の方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災された皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

物質・デバイス領域共同研究拠点では、被害を受けられた地域の大学や公的な研究機関に所属する研究者の皆様への、研究教育活動の支援を以下の通り行いますので、お知らせいたします。

支援内容： 5 研究所所有の共通分析機器等の利用

※原則としてサンプルの依頼分析を受け付けます。

※来所にて利用ご希望の場合は、ご相談ください。

※機器利用の際には各研究所の技術職員がサポートします。

[お問い合わせフォーム](#) | [物質・デバイス領域共同研究拠点 \(NJRC\) \(osaka-u.ac.jp\)](#)

【提供可能機器一覧】 各研究拠点の研究機器については、下記よりご確認ください。

- ① [物質・光・生命・数理複合科学研究領域\(北海道大学電子科学研究所\)](#)
- ② [物質創製・先端計測研究領域\(東北大学多元物質科学研究所\)](#)
- ③ [物質組織化学研究領域\(東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究
所\)](#)
- ④ [ナノサイエンス・デバイス研究領域\(大阪大学産業科学研究所\)](#)
- ⑤ [物質・材料機能研究領域\(九州大学先導物質化学研究所\)](#)